



「疲れたときにホッと一息、心の栄養バランス供給源」
むげんだい

夢限大 ∞



「友愛」
「礼節」
「協力」

ttp://www.kizu.ed.jp/kizu2-jhs/

木津川市立木津第二中学校

平成29年7月4日(火)

vol.13

花の力は偉大

木津川市緑化協会よりマリーゴールドの花の苗を 100 株頂きました。早速、職員玄関前に用務員さんが植えてくれました。玄関先が、少し明るくなったような気がします。苗が少し余ったので、野球部のバックネット近くにも植えてみました。これからの季節は水やりが大変ですが、しっかり育てたいと思います。それと同時に、ひまわりの種も植えました。こちらも咲くのが楽しみです。



ところで、「福島ひまわり里親プロジェクト」という取組を聞いたことがありますか？これは、2011年3月に発生した東日本大震災後、福島県の有志により始まった「福島県に“復興のシンボル”としてひまわりを植えよう」という活動です。全国の20万人の里親さんが育てた“ひまわり”を福島県で復興のシンボルとして咲かせることによって、雇用・教育・観光につなげ、また、日本全国と福島の『絆』を深めるためのプロジェクトです。興味のある人は是非、ブログを検索してみてください。このプロジェクトを立ち上げた、NPO法人チームふくしまの著書から「一杯の豚汁」というお話を紹介します。

3月14日。炊き出しボランティア3日目。大震災から4日目の夜、僕の人生観が大きく変わる出来事が起こった。屋間から準備していた1200人分の豚汁を作り、皆に配給していた。正直、僕も料理人のはしくれだからもっと豪華なものを提供したいと思ったけど、1200人分の食材を考えると、こんなもんしか出来ない……。ちょっと申し訳ないくらいに感じてた。殆ど肉の入っていない“豚汁”という名の野菜スープ。僕の列に並んでくれた人に次々に豚汁を配っていると、その婆ちゃんは僕の前に現れた。

「おい兄ちゃん、オレの家は津波で流されちゃったんだ。爺ちゃんも何処かさいっだがねえ。もう、なにかも無くなっちゃったからよ、豚汁、大盛にしてくれ。それくらいしてもらってもバチ当たらんべよ」

正直、一瞬、悩んだよね。なんか気難しそうな頑固婆ちゃんって感じだったし……。かわいそうだけど、一人だけ大盛を認める訳にはいかないから、「みなさ～ん。すみませ～ん。このお婆ちゃん、津波で家やら全部流されちゃったみたいで～かわいそうだから、特別に豚汁大盛でよそってあげても良いですかあ～」僕はありったけの大声で、後ろに並んでいる人達に聞いてみた。ちょっとふざけた感じでね。

そしたら……。なんと、みんな笑顔で一斉に首をタテに振りはじめたんだ。僕は驚いた。正直予想外だった。だから、僕も満面の笑みで「これでもかよっ」てくらい、なみなみと豚汁を注いであげたんだ。「ほいっ、おまたせ！超大盛の豚汁だよ！」そう言って、ふとその頑固そうな婆ちゃんの顔を見ると、満面の笑みで、穏やかな顔で、でもちょっと涙目で……。

「おう。兄ちゃん、あんがとよ、この豚汁1杯でよ、全てチャラにしてあげるわ。オレの財産全部と豚汁、交換だな。また明日から元気で生きるべ。」

そして、最後にこう言うてくれた。「震災あったけどよ、兄ちゃんと出逢えたから……。良がった」その瞬間！なんかもう僕は無我夢中で、婆ちゃんに抱きついてたんだ。「絶対頑張んべな！婆ちゃんありがとう。ありがとう、頑張んべな！！」そう言うて僕は婆ちゃんとハグしながら号泣していた。婆ちゃん、僕の方こそ婆ちゃんと出逢えて良かったよ。ありがとう。

「ひまわりが咲くたびに“ふくしま”が輝いた！」NPO法人 チームふくしま 著・半田真二 文／ごま書房新社

どんな状況であれ、「幸せは掴むものじゃなく気づくものなんだ」と語られていました。あの日、あのとき感じたこと、そして葛藤や決意、覚悟が感じられます。

因果応報

「いんがおうほう」と読みます。人はよい行いをすればよい報いがあり、悪い行いをすれば悪い報いがあるという意味です。元々はお釈迦様が唱えた「因縁果」という仏教用語が語源になっているとか…。桃の木を例に考えてみましょう。



例えば、一粒の種があります。桃の木の種です。土に埋めます。雨が降り、種は動きだし、芽が出ます。光が当たり、雨が降り、成長します。逆に土に埋めず。雨にも当たらず。光にも当たらないと、やがて種は朽(く)ちます。

種という「因」があります。土、雨、光、風という「縁」があり、成長します。芽は太くなり、枝になり、幹になります。どんな土に縁するか、どんな光、雨、風に縁するかで、伸びていく方向、根の張り方、幹の太さ形が決まっていきます。しなやかだった幹も太く硬く動かなくなっていく。立派に育つと、花を咲かせ、実を結びます。これが「果」です。なので「果実」「果物」とも言います。

「スターウォーズは悟りの教科書」松本 青郎 著／ヒカルランド

どんな桃の木に成長するかは、土に種が落ちたときにすでに決まるようです。よい「縁」に恵まれた人は、よい「果」を得ることができるのです。自分という種をどこにまくかによって決まるのです。よい結果が来た時も、悪い結果が来た時も、それは自分のまいた行為の結果ということをお忘れなくおきましょう。

★キラキラ輝く中学生★

期末テストが終わった金曜日、全校集会が開かれました。今回のメインは、何といても体育大会の色分け抽選会。毎年の恒例行事となりましたが、先生たちのパフォーマンスも一段と磨きがかかってきました。(;) 本番に向け、リーダーを中心にしっかりと取り組んでいきましょう。そして、気がつけばもう7月ですね。これからは暑さも本番を迎えます。規則正しい生活を心がけ、最後まで気を引き締めて頑張ってください！